



小平美智雄 議員  
(市民連合)

**姿川流域へサイクリングロードの整備を**

**問** 姿川サイクリングロードの整備について、県総合スポーツゾーンと一体的に整備するように要請書が提出されている。

また、森林公園や大谷街道、明保通りなどは、自転車愛好家が年々増加しており、地域住民からは自転車の増加に伴う交通事故を心配する声も挙げられている。姿川流域から森林公園通りまでの整備は、市民ニーズが高く有効であると考え、姿川サイクリングロードの一体的な整備について見解は。

**答** 姿川においては、市より下流の堤防などに、県によってサイクリングロードが整備されていることや、競馬場跡地周辺において総合スポーツゾーンの整備が検討されているほか、上流は多くのサイクリストが訪れる森林公園周辺につ

ながっていることから、サイクリングロードの整備に適した環境であると考えている。

このような中、自転車のまち推進計画において、サイクリングロードの延伸整備の検討やサイクリングルートとしての活用を位置づけているところであり、今後、鬼怒川、田川、山田川、姿川を対象に既存のサイクリングロードの状況や、利用ニーズ、整備にあたっての課題などを十分把握するとともに、国や県などの関係機関とも連携を図りながら市におけるサイクリングロードの整備に向けて検討していく。



▲田川サイクリングロード

**その他の質問項目**

- ①中期財政計画 ②交通戦略(東西基幹公共交通 既存駅舎の高機能化) ③ゾーン30の推進 ④道の駅ろまんちっく村へのEV急速充電器設置 ⑤ホームホスピスの推進 ⑥不活化ポリオワクチン導入後の接種支援の表彰制度 ⑦クラブライセンス制度発足に伴う栃木SCへの支援 ⑧受動喫煙防止対策



荒木 英知 議員  
(みんな)

**LRT整備にかかる総事業費を提示せよ**

**問** LRT建設費用は約380億円、費用の半分は国の補助が入り、市の負担は残りの半分の約95億円、そこには土地取得費用も含むとの説明だが、実際には国の補助が3分の1のものもあり、市民への説明内容と違う。

また、市債償還利子や駐車場設置の移転補償費用などは380億円には含まれていない。  
現時点でのLRT構想において、総費用と市の負担総額ほどのくらいか。

**答** LRT整備の総費用は、桜通り十文字付近から宇都宮テクノポリスセンター地区までの約15キロメートルの概算として、走行路面や路盤などに約199億円、電気・信号などに約86億円、低床式車両に約70億円、駐車場や駐輪場を含むトランジットセンタ

ーに約28億円を見込んでおり、これらを合計して約383億円と試算している。この試算は、計画段階での概算費用であり、今後、事業が具体的に変わった段階で、事業費用を精査していく。

なお、市の負担額は、今後の関係機関との協議で決定されるが、公共交通の確保維持に関わる各種補助制度の活用により、全体費用の半分程度に国の補助金が導入できると考えている。



▲富山ライトレール

**その他の質問項目**

- ①一般質問への答弁とその後の対応 ②公共交通ネットワーク等 ③農作物と加工食品の輸出促進 ④女性管理職の登用促進 ⑤「高年齢者雇用安定法改正案」成立とその対応 ⑥公用車使用時のアルコール検査の導入 ⑦競輪事業の取り組み ⑧学校給食の質の向上



菊地 公史 議員  
(公明党)

**「貧困の連鎖」を断ち切るために教育支援をすべき**

**問** 生活保護の受給経験がある親元で育った子どもが、貧困から抜け出せなくなる「貧困の連鎖」が、地域によって深刻な状況にある。

埼玉県では教育・職業訓練・住宅確保支援の3本柱からなる「生活保護受給者チャレンジ支援事業」を展開しており、川口市では介護老人施設の一室を利用して学習教室を開設し、教員OBと大学生ボランティアが中学生にはほぼマンツーマンで勉強を教えている。

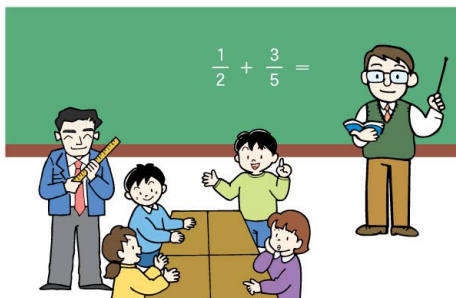
その結果、23年度の中学3年生の対象者801人のうち、教室参加者は305人と4割近くにまで達し、参加者の高校進学率は97%と大きな成果をあげている。

そこで、市として「貧困の連鎖」を防止するための対策はどのように考えてい

るか。特に、中学生に対する教育支援に取り組むべきと考えるがどうか。

**答** 貧困の連鎖を防止するためには、社会性を育み、確かな学力を身につけるなど、「生きる力」を育てる教育が重要であると認識している。

今後、中学生を含む年少者に対する教育支援について、民間との連携や支援する体制などを検討していく。



**その他の質問項目**

- ①利用しやすい東西基幹公共交通の整備 ②子どもをはぐくむ企業応援事業 ③安全・安心なエネルギー社会の構築 ④「食品ロス」削減への取り組み ⑤子どもたちのがん教育 ⑥若者の投票率アップの取り組み